

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

人間性豊かで 心身ともに 健やかな児童の育成を図る

校訓

- さとく (知育)・・・良く考え 自ら学び 判断できる子に
- あかるく (徳育)・・・あいさつができ 心やさしく 思いやりのある子に
- たくましく (体育)・・・自ら心身を鍛え 継続してやり抜き 責任を果たす子に

(2) 目指す学校像

子どもが通いたい、保護者が通わせたい、教職員が働きたい、地域が自慢できる学校

(3) 経営方針

- ア 「挨拶ができ、みんな仲よしの学校」を合い言葉に、自分から挨拶し、他者を思いやり、落ち着いて学び、基本的な生活習慣を身につけた児童の育成を目指す。
- イ 地域・学校が有する能力・資源を開発・活用し、学校に関係する人たちの願いと期待に適切に対応しながら、教育目標の達成を目指す。
- ウ 人と人のかかわりを大切にし、報告・連絡・相談・確認を心がけながら、創意あふれる教育活動を推進する。
- エ 先例から学んだ減災対策・減災教育を、地域の実態に即した行動計画と結びつけ、実効性のあるものにしていく

(4) 本校の重点努力目標

- ア 「**当たり前のことが当たり前**にできる」 基本的な生活習慣を身につけさせる。
 - (ア) 児童も教職員も、自発的に挨拶をする。
 - (イ) 児童も教職員も、時間を守り、整理整頓を心がける。
 - (ウ) 児童も教職員も、自分の命は自分で守る行動ができるようにする。
- イ 「**自学自習の学習姿勢**」 未来を生きるための学習習慣を身につけさせる。
 - (ア) わかりやすい授業を工夫し、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る。
 - (イ) 主体的・対話的で深い学びが成り立つような授業を進める。
 - (ウ) 効果的な学習が教科横断的に進められるようカリキュラムを工夫する。
 - (エ) 家庭と連携し、学習習慣の確立を図り、取組を点検評価する。
- ウ 「**心の教育**」 人間関係育成力と豊かな感性を育てる。心を育てる。
 - (ア) 児童、保護者の思いを共感的に受容しながら、指導、支援していく。
 - (イ) 全教職員が一人一人の児童を見守り、その情報を共有しながら関わる。
 - (ウ) 豊かな心が育つよう、行事と効果的に関連づけたカリキュラムを工夫する。
 - (エ) 所属感を育み、児童一人一人の居場所作りに心掛ける。
 - (オ) 様々な活動やねらいをもった声かけを通し、児童の自己肯定感を育む
 - (カ) 地域と連携して、大宮農園などの教育資源を活用して、豊かな感性を育てる。
- エ 「**活力ある学校**」 心身共に健やかに教育活動に取り組める職員室にしていく。
 - (ア) 働き方改革の意義を職員が共通理解し、心身にゆとりがもてる職員室を目指す。
 - (イ) 業務の見直しを図り、職員が個性を發揮しやすい職員室を目指す。

大宮小学校の「あいうえお」

あ： 当たり前のことを 当たり前に
(言葉で)挨拶をする、時間を守る、そうじをしっかりと行う

い： いつでも、どこでも

う： 上から下から
高学年も低学年も、教師も児童も

え： 笑顔で
自ら進んで

お： 行う